

レビュープロセス改善に向けた 定量的評価とその応用

メルコ・パワー・システムズ株式会社

長谷川和也

Hasegawa.Kazuya@zj.MitsubishiElectric.co.jp

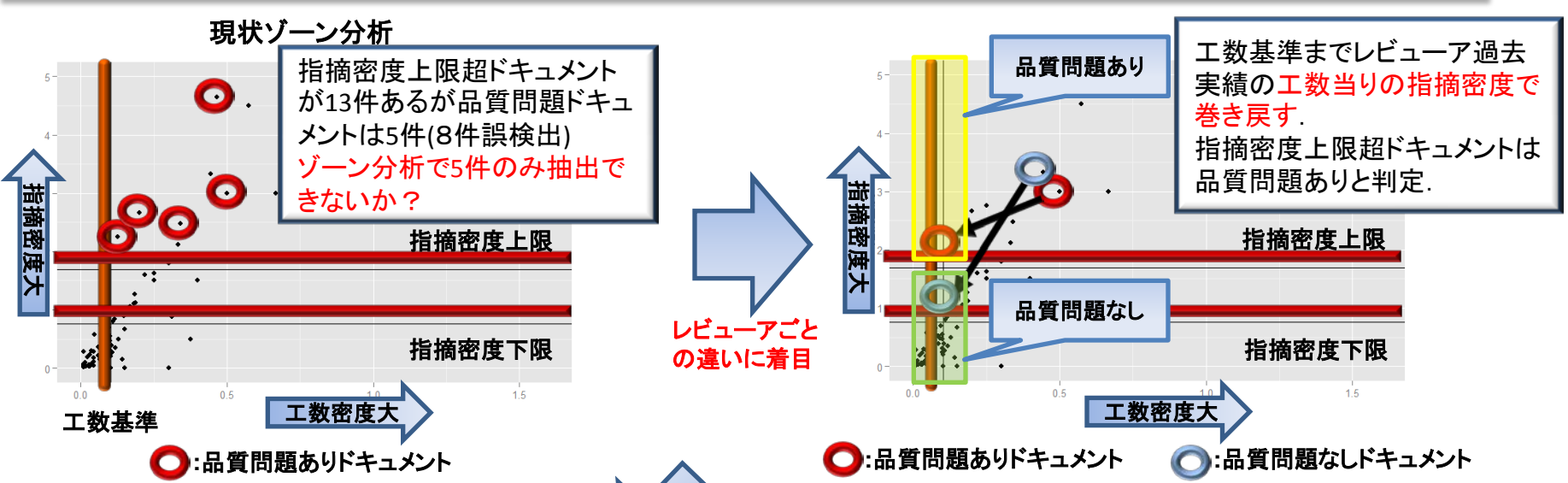
開発における問題点

ソフトウェア開発プロジェクトにおいて、上流フェーズにおける品質保証は重要な活動の一つである。しかし、レビュー結果の評価は属人的で定性的に行われることがあり、そのため本来であればもっと工数をかけてレビューすべきものや、再レビューすべきものが見過ごされている可能性がある。

手法・ツールの提案による解決

レビュー記録を収集し、ドキュメント評価にゾーン分析を利用する。ゾーン分析に必要な基準値を策定し、基準値を超えるレビューは品質に問題ありとし再レビューする。さらに、ゾーン分析では誤検出が多いため、**レビューアごとの違い**に着目し**ゾーン分析を改良**する。

ゾーン分析の改良



結果と課題

- ・結果と評価
 - ー レビューアごとの違いに着目し、ゾーン分析を改良することで、品質問題ありドキュメントの検出精度が向上
- ・今後の課題
 - ー 他ドメインへの適用と評価・改善
 - ー レビュー工数密度, 指摘密度, レビューア実績以外のメトリクスを利用した基準値精度の向上